



社業発展、一歩ずつ

酉年生まれの県内経営者 新年の抱負

今年のえとは酉。頭の回転が速く、才能豊かな酉年生まれは、先見の明があるともいわれる。株価や為替相場が乱高下した2016年。今年も先行きの不透明感が漂う中、鳥が空から見下ろすように鳥瞰し、先を見据え、会社をさらなる高みへと飛躍させたい。年男の県内企業の経営者たちに抱負を聞いた。



ワンステップ

細野 高弘社長(35)
★ 1981年7月4日生まれ

「新しいことに挑戦する年にした」と意気込みを語る。趣味のパソコンを生かして2009年に独立し、自社企画のオリジナルパソコンの販売や修理、ホームページ制作を手掛けている。顧客の業務に支障が出ないよう、即日修理を行うのが強み。昨年はスマートフォン修理事業に参入し、人気を集めている。(本社・岐阜市)

顧客に役立つ事業を展開



東海プロセスサービス・HOMESエデュケーション

川瀬 憲司社長(47)
★ 1969年5月3日生まれ

今年には運営する学習塾の高齢者が30周年、個人指導塾のHOMESが10周年の記念の年となる。「塾生や保護者、社員、全ての関係者に感謝の気持ちを表す年にしたい」と、ハワイへの社員旅行を計画し、受講料割引の還元企画も予定する。昨年は、英語のリスニングなどの教材でタブレット端末(Pad)やiPadの活用を進めた。「多く(本社・大垣市、岐阜市)

感謝の気持ちを表す年に



濃飛倉庫運輸

尾関 圭司専務(47)
★ 1969年11月4日生まれ

「昨年迎えた創立100周年は先輩方に築き上げていただいた。次の半世紀を築いていきたい」と自らを奮い立たせている。101年目の今年は「攻めの事業展開に転換する」。新たに1社専用の物流センターを立ち上げ、また顧客施設内での物流業務受託にも相次いで乗り出す。「オーダーメイドの物流を提案し、顧客の成長をサポート(本社・岐阜市)

101年目、攻めの姿勢に転換



文溪堂

水谷 泰三社長(59)
★ 1957年3月9日生まれ

提案力を高め、健康第一で昨年、社長に就任し初めて新年を迎える中、「一歩」を今年の経営テーマに掲げた。「社員も含め全員が一歩進むことで、会社を発展させた」との思いを込めた。小学校向け図書教材・教員の出版や販売などを手掛ける。2020年度から新しい学習指導要領が実施されるのに合わせ、教科書などが大きく変わる。「(新学習指導要領に)

提案力を高め、健康第一で



エヌビーシー

日比 利雄社長(59)
★ 1957年7月18日生まれ

絶えず一歩ずつ歩みを進めようとして「ワンステップ Ahead」が会社のモットー。「酉年として開設を2、3段階上げるようなチャレンジをする年にしたい」と抱負を語る。自動車用電子部品を製造し、昨年はフィリピンにシートベルト用ワイヤーハーネスの生産拠点が完成し稼働。中国で生産していた北米と欧州向けの製造を移管する。「海

階段を飛び上がる挑戦を